



2021・1・11

第 397 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 総選挙に向け草の根の活動さらに旺盛に

### 吹雪つき改憲ノーの決意新た

【青森県／青森県九条の会】

「アベ・スガ政治を許さない」。青森県九条の会は3日、新年最初の「3の日行動」を青森市の駅前公園で行いました。

猛吹雪の中、「あけましておめでとう。今年こそ政権交代させましょう」「今年もがんばりましょう」と新年のあいさつを交わした参加者 14 人は、「アベ政治を許さない」ポスターや「9条」うちわを掲げ、一斉にアピールしました。

悪天候の中、「福袋」を抱えて歩く人、寒さを和らげようと寄り添う家族やカップルが、「何かやっている」「こんなに寒いのにごくろうさま」と激励しました。

視界が真っ白に染まるなか、「コロナ禍で苦しむ医療関係者、市民に寄り添うより、『Go To キャンペーン』に力を入れ、軍事費に金をつぎ込む、菅政権を総選挙で倒そう」と力を込めました。

吹雪が続き、約 20 分の行動でしたが、みんな元気に「今年は総選挙に向けてがんばります」「こんなに集まって元気ができました」と、決意を語り合いました。

### 《九条の会事務局主催 学習会》 菅政権の成立と改憲問題の新局面

◇日時 2021年2月17日(水)

18時30分～21時

◇会場 文京区民センター 3-A 会議室

◇講演

\*バイデン政権の成立と日米軍事同盟の強化—第5次アーミテージレポートにもふれて

布施 祐仁(ジャーナリスト)

\*敵基地攻撃能力保有策動の狙いと憲法9条

前田 哲男(軍事評論家)

◇参加費 一般 1000円 学生 300円

◎コロナ対策のため先着 90 名(あらかじめ参加希望者と人数をお知らせください)

### 市民と野党の共同で政治転換を

【香川県／9条の会かがわ・香川革新懇】

9条の会かがわ・香川革新懇は6日、高松市で菅政権の退陣を求めて市民と野党共同のアピール行動に取り組み、40人が参加。

立憲民主党の竹本敏信県連幹事長、日本共産党の中谷浩一県委員長、木村篤史県議（無所属）が訴えました。

竹本氏は政治とカネの問題を指摘し、「今の政治を変えたい、政権を代えたい。全力で頑張りたい」と強調。中谷氏は党が提案する「新しい日本をつくる 5 つの提案」を紹介し「いずれも国民が望み、野党共闘でも一致している。野党連合政権をつくって実現させよう」と呼びかけました。木村氏は「野党は一致連携して、国民のために働く政治家を誕生させよう」と訴えました。

通りがかりの学生らが手を振ったり、たちどまって声援を送る姿がありました。

参加した医療関係の女性（57）は、「PCR検査を誰もが気軽に受けられる体制にしてほしい。国がきちんとしないといけない。病院と医療従事者の支援を充実してほしい」と話しました。

## 無策で強権的な政権を批判

### 【千葉県市川市／市川教育九条の会】

11月21日（土）感染拡大が続く中、本八幡駅で15名がスタンディングを行いました。

今、最も優先すべき医療崩壊阻止に全力を挙げて取り組まない無策な菅政権への怒り。「日本学術会議問題」は憲法で保障された学問の自由を否定し、物言えぬ強権的なこの政権に対する危機感。こんな共通の思いで駆けつけ、改憲発議をさせてはならないと訴えました。

「9条って何？」と質問してきた女性。「9条？むずかしいなあ。」とつぶやいていった小学生。一人一人との対話を大切にしながら憲法9条を守っていききたいものです。

\*市川教育9条の会通信100号でお願いした新しい署名用紙での署名が、皆さんから今までに、123筆寄せられました。郵送分は、9人からで47筆。手渡し分は6人からで76筆。一人で25筆を集めて下さった方もいました。（「市川教育9条の会」NO101）

## 急な解散もある総選挙に備えを

### 【川崎市青葉区／青葉台地域9条の会】

12月25日16名とやや多い参加者で今年最後の月例会を開催した。例年12月に望年会として1年の総括、新年への抱負を皆で語り合ってきたが、今年はコロナのためこの望年会をやめて通常の月例会とした。

最初に川崎市が罰則付きのヘイトスピーチ規制法を制定しようとしている動きに反対する右翼の動きが強まっているため、制定を後押しする応援署名を行った。

続いて就任3か月となる菅内閣について様々な評価を各自が行ったが、①もともと菅は悪質だった、②官房長官としても最悪だった、③国民を信頼しておらず、直接語りかける姿勢がみじんもない、④内に国民に語り掛けたいものを何も持っていない、⑤目つきを見ても落ち着きすらなく首相の器ではないなどなど。このような状態で桜、学術会議などで支持率が急落し、解散のタイミングを失っている。コロナ、桜前夜祭、学術会議、オリンピック共に大きな失点になりかねず、任期切れ解散を含めて、新しい内閣としては好ましくない状態であり、破れかぶれ解散もあり得る＝いつ総選挙になってもおかしくない状態といえます。（「青葉台地域九条の会ニュース」1月1日）

## 今年を政治を変える 1 年に

【東京／国会前 3 の日行動】 澤地久枝さんのよびかけで始まった国会前の「アベ政治を許さない。スガ政治も許さない」のポスターを掲げるスタンディング行動が 3 日、国会正門前で行われ、100 人が参加しました。

呼びかけ人の澤地さんがあいさつし、安倍政権から菅政権に移行した昨年を振り返り「政治がますます悪い方向に向かっていきます。今年を最悪の 1 年にしないために、みんなが政治にたいする意見を持っていることを示していきましょう」と力をこめました。コメディアンの松元ヒロさんは「国民が力を合わせれば必ず政治を変えられる。今年もがんばりましょう」と訴えました。

## 工夫こらして楽しい総会に

【東京都新宿区／東京法律事務所 9 条の会】 昨年 11 月 7 日、当事務所 9 条の会の総会をウェビナー形式で開催しました。当事務所の岸松江弁護士と青龍美和子弁護士が扮する四谷姉妹の漫才や東京慈恵会医科大学の小沢隆一教授（憲法学）のインタビュー動画の配信、平和新聞編集長の布施祐仁さんとの対談など盛りだくさんの内容でした。

四谷姉妹が憲法を盛り込んだ漫才（ミルクボーイ風）を披露しました。小沢教授からは日本学術会議任命拒否問題の当事者として、任命拒否を知った時の心境や日本学術会議の役割、学問の自由だけでなく、わが国の民主主義の根本にふれることについてお話いただきました。

布施さんは「敵基地攻撃能力」について、

ミサイルの発射前に敵基地を先制攻撃するもので、従来の専守防衛から大きな転換となり、ミサイル発射前の発射阻止は事実上不可能であり、外交でその可能性を少しでも低めることが重要だと語りました。

Y o u T u b e で当事務所のチャンネルを開設し、本企画の録画も配信しています。チャンネル登録もお願いします！

（東京法律事務所「たより」1 月 1 日）

## 北の地の草の根で 9 条への思い込め

### 戦争を 2 度と起さないために

【北海道空知郡南幌町／なんぼろ 9 条の会】 12 月 6 日、大きなメッセージボード設置完了。私達なんぼろ 9 条の会は、ここ隣町からの入り口と他に町内 3 箇所に大きなメッセージボードを設置しています。これで 3 回目、なかなか後が続かず今ではじいじとばあばが 10 年は後大丈夫かな？最低でも 10 年はもたせたいもの。本心はこういうボードを設置しないで安心して暮らせる世を願っているものたちなのです。衣服にペンキをつけちゃったりしながら、マスクでめがねが曇るといいながら、ピカッと光る仲間のペンキ屋さんに励まされながらの完成でした。

これを見た他の町の人からの反応を知るのも励みになっています。

戦後の猛省からの憲法や学術会議の初心にもどり活かされるよう、為政者・国民が物欲から離れた心身穏やかな暮らしが出来るよう願っています。

東京の 9 人の方々により立ち上げられた九条の会に賛同し、なんぼろ 9 条の会が出来

たのは2006年。5年後「戦後体験を聞く会」を企画、というのも会員の中に戦後の帰還で大変な思いをした方々がおいでだった事がわかったからです。形に残そうということになり、4人の方に綴っていただけないかと頼み綴ってもらいました。「あの時を忘れない」と題し文中のイラスト、印刷、製本全て手作り。このメッセージボードと同じです。

この4人の方々は、樺太、中国、韓国からの帰還で当事5歳から20歳代でした。思い出すのも辛いことを申し訳なく思いながら綴っていただきました。子供だったので記憶違いもあるかもと、兄弟姉妹が集まった法事の際に聞き、確かめながら書いてくださった方、あの非情な異常な中でも心のしなやかさを失わず姉妹で助け合ってこられた方、とても書けないよと言いつつゆっくりポツリポツリと話して下さった方、録音させてもらいテープおこしました。幼い頃の不条理なことから憲法9条の大切さを感じて綴って下さった方もいました。2021年現在もうお2人が逝去されました。多くの犠牲といくつもの反省の中から生まれた大切な憲法9条です。絶対に失ってはいけません。

過去からの教訓を受け学びながら生き続けるのが人間、失敗があっても繰り返さないのが人間と思っているのですが、そうならない今の世は不思議です。

(なんぼろ9条の会・斎藤征子・76歳)

## 平和憲法にこめた私の願い

元北海道東川町長 山田 孝夫

私が出生した年は1929年(昭和4年)で、

2年後に関東軍の侵略戦が始まり、小学校、高等科8年間は日中戦争、太平洋戦争と少年時代の全てが戦争時代でした。周りの青年達の大卒は召集令状または志願兵として戦地に赴き帰らぬ人となりました。私の隣の家の先輩は沖縄の特攻隊として出撃した方です。

私の叔父も4人家族でしたが、海軍に召集され1か月で空母信濃丸に乗船し、アメリカ潜水艦に紀州沖で攻撃を受けて沈没し戦死しました。残された家族は長い間悲惨な生活だったことは言うまでもありません。

私が大学に入った頃、初めて上野駅に降り立った東京の景色は“黒一色”の焼け野原で、その光景は今でも鮮明に覚えています。

私にとって戦争を主導した戦争犯罪者が英霊として靖国神社に祭られていることはどうしても納得できない事なのです。

そして、その後の東京が一年一年変わっていく姿を見て、日本人のたくましさに感銘を受けたものです。

その流れと同じように政治が少しずつ右傾化していくのを実感しました。敗戦の時は再び愚かな戦争は起こさないと決意し、75年間の平和が当たり前ようになった社会を、今の内閣は憲法改正を強引に進め、アメリカに従って戦争できる安保法制を制定し憲法の空洞化を進めようとしています。

私は90歳を過ぎ、戦争体験者として人間が戦争ではなく、お互いに誠意を尽くして平和的に解決することを若い世代の人たちに伝えたいと思います。

(「全国首長九条の会ニュース」第7号)